

5/17

新庁舎オープニングイベント開催



5月16日の市役所新庁舎グランドオープンを記念し、17日にオープニングイベントを開催しました。

当日は、マルシェや北村絵澄さんによるグランドピアノの演奏、鑿たたきなど、子どもから大人まで楽しめるイベントを実施し、約5,500人にご来場いただきました。

今後も市役所庁舎を交流とにぎわいの場として活用し、さまざまなイベントを開催していきます。ぜひお立ち寄りください。

イベント開催状況は
こちらをチェック⇒



〈市HP〉

ダイアリー

松江まちかど



松江市PRキャラクター
おまっちょ

6/1

第1回「小泉八雲月間」 オープニングセレモニー



小泉八雲・セツ夫妻の誕生日・命日がある6月、9月、2月に、小泉八雲関連の多彩なイベントを行う「小泉八雲月間」を開催します。

オープニングセレモニーでは、小泉八雲記念館館長 小泉凡氏による特別講演などがあり、盛大な幕開けとなりました。

9月と2月にもさまざまなイベントや企画などをお楽しみいただけます。ぜひご参加ください。

＼9月、2月の情報も随時更新します／

詳細はこちら⇒



〈小泉八雲月間特設ページ〉 〈小泉八雲月間Instagram〉

松江市ホームページ



防災メールに登録しましょう。
登録はこちら⇒



商標について：QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

市報 松江

目次

- 02 今年で20周年！
Ruby City MATSUE プロジェクト
- 04 松江まちかどダイアリー
- 05 松江市長 上定昭仁の「上を向いていこう」/
町自連だより
- 06 小泉八雲とセツの面白エピソード/
安居楽業
- 07 空き家無料相談会を開催します
- 08 松江市生活応援 おまっちょ お買物券の
配布／松江市職員採用試験
- 09 令和7年国勢調査の速報／島根県事業承
継・引継ぎ支援センターのご紹介
- 10 国民健康保険資格確認書などの更新/
8年度国民健康保険料率が決まりました
- 11 後期高齢者医療保険加入の人へ郵送物を
ご確認ください
- 12 子育て・健康・福祉
- 14 令和8年度の介護保険料をお知らせします
- 15 情報ひろば
- 22 でかけてごしない～イベント情報～

松江市長 上定 昭仁の

上を向いていこう

Vol.57



錦織圭選手の 引退発表に寄せて

松江市出身のプロテニスプレーヤー・錦織圭選手が、4月30日（米国時間）、今季をもって第一線から退くことを表明されました。

これまで錦織選手のプレーに魅了され熱狂し勇気づけられた一ファンとして、率直に大変残念ですが、**偉大な功績と限りない感動**を松江市民に与えてくださったことに心より感謝します。

錦織選手は、5歳からテニスを始め13歳で米国にテニス留学するまで、市内上乃木のグリーンテニススクール（グリーンテニスガーデン）に通われ、故・柏井正樹コーチや細木秀樹コーチの下で腕を磨かれました。

2008年のATPツアー初優勝を皮切りにタイトルを相次ぎ獲得。2014年の全米オープンでは日本人初の準優勝、2016年にはリオデジャネイロ五輪で銅メダルに輝くなど、世界のトップ選手としての素晴らしい戦績は、**私たち市民の誇り**です。

本市では、**五輪出場時の激励金贈呈**や市役所での**懸垂幕設置**、**パブリックビューイング**の実施など、市民のみなさんと

ともに錦織選手に**熱い声援**を送ってきました。

私ごとながら、高校時代に柏井コーチからテニスの指導を受け、今でもグリーンテニスガーデンでプレーする中で、錦織選手は「雲の上の存在」でありながら、「同郷のヒーロー」として常に身近に感じています。

錦織選手のラストシーズン、9～10月に東京で開催される「ジャパンオープン」への出場も発表されました。引退されるその日まで、**市民一丸となって錦織選手のご活躍を祈念し、熱い応援の声を届けてまいります**！



〈サーブを打つ上定市長〉



〈全米オープン決勝のパブリックビューイング〉

町自連だより

70年、そして古江地区100年をめざして

古江地区自治協会 川谷 一寛 かわたに かずひろ

古江公民館では、この2月に、50年記念誌に続き、「70周年記念誌」を発刊することができました。振り返ってみると、古江地区も他地区同様、少子高齢化、世帯数の減少、農業の集約化の進展など、大きく変化した20年であったと言えます。

文化施設として華々しく開業した、ルイス・C.ティファニー庭園美術館は残念ながら閉園となりましたが、旧松江イングリッシュガーデン駐車場には、Bプレミアへの参入が決定した島根スサノオマジックの練習用体育館「スサマジ・ビレッジ」が本年10月の完成をめざして工事中です。バスケットコート、トレーニングジム、ミーティングルーム機能を完備した体育館とのこと。

古江地区は、小・中学校ともに、バスケットボール競技が盛んで、県内優勝の実績もあります。スサノオマジックと古江地区のミニバスや中学生との新たな交流を、今から楽しみにしています。

令和11年度には、湖北地区内小学校（古江・秋鹿・大野）の湖北中学校区での統合が予定されており、新たな変革が期待されています。地域の産業、暮らしも着実に良い方向へと進んで欲しいと切実に願っています。

私たち古江に住む者として、自治会活動や自主防災隊活動などの日常の活動を一歩ずつ着実にを行い、これから先の100年後の未来が明るいものとなるよう決意しています。



〈古江公民館創立70周年記念 古江70年の歩み（平成18年～令和7年）〉

小泉八雲とセツの面白エピソード その10

～八雲とセツのちょっとしたエピソードをご紹介します～

夕食後、八雲が好んだデザートは？

先月号に続き、お手伝い・高木ヤオの回想から、八雲の食生活をご紹介します。

- ・朝食：牛乳2合と生卵5個
- ・昼食：曳野旅館（※今のカラコロ工房の場所にあった）から日本料理を取り寄せ
- ・夕食：ピフテキ、パン、珈琲など5品ほどを西洋料理店「魚才」から取り寄せ

「先生の酒のお肴は実に妙なものでして。毎晩アサヒビール2本をお飲みになりますと、必ずその後で黄金牡丹という誠に柔らかい菓子を5、6個食べられました」（桑原羊次郎『松江に於ける八雲の私生活』を部分編集）

黄金牡丹は、今も市内の菓子店で販売されています。



高木ヤオ

『小泉八雲の一日』（島根大学附属図書館所蔵）の一部より

5月号、当コラムの記述

「島根県尋常中学校時代の教え子・並河栄四郎」を

「島根県尋常師範学校で教えを受けた並河栄四郎」に修正

初めまして。地域おこし協力隊の篠田謙志郎です。協力隊に着任してから早いもので1年が経過しました。初めて体験する山陰の冬を越し、太陽の光を受けて燦然と輝く宍道湖や、草刈り後の畑の香りから、不安いっばいで移住してきた1年前を思い出します。当時23歳だった私は「若いのにどうして島根に？」と数え切れないほど聞かれました。

私は静岡県県の小さな港町出身で、直近では神奈川県横浜市総合病院で作業療法士として勤務していました。一昨年の秋ごろ、同職種の先輩を訪ねて松江市を訪れた際、どこか地元のような安心感を覚え「この街に住んでみたいかも」と直感的に惹かれ、移り住むことを決意しました。



〈ひとくちだより〉



〈篠田編み物〉

現在、広報紙は市内の飲食店を中心に15店舗ほどに置かせていただいています。が、まだまだ置いてくださる場所を募集中です。ボランティアでは、松江に江戸末期から伝わる篠田工に夢中です。私ともなつての出会い、学生時代の精神科病院での実習にさかのぼります。ものづくりには、成功体験を得たり、生活リズムを整えたり、誰かに喜んでもらえるたりと、さまざま

手書きと手編みで織りなす松江暮らし

10期生

篠田 謙志郎

地域おこし協力隊の

あん きょ らく ぎょう
安居 楽業



〈松江市地域おこし協力隊〉

vol.9

